

回覧

英国ロンドン派

British London school

2024.6.30 [日] → 9.23 [月・振休]

開館時間 9:30 → 17:00 ※入館は閉館30分前まで

■休館日：月曜日(祝休日の場合は翌日) ■入館料：大人600円(550円)・小中学生300円(250円) ※()内は20名以上の団体、65歳以上は300円(要証明)
■主催：益子町文化のまちづくり実行委員会 益子陶芸美術館 ■後援：下野新聞社 とちぎテレビ 栃木放送 エフエム栃木 ブリティッシュ・カウンシル

益子陶芸美術館
Mashiko Museum of Ceramic Art

栃木県芳賀郡益子町益子3021
TEL: 0285-72-7555
www.mashiko-museum.jp



左より
ハンス・コパー
《ディスク・フォーム》1974年頃 Estate of the artist
《ポット》1974年頃 Estate of the artist
《ディスク・フォーム》1967年頃 Estate of the artist

欧州の中で陶芸大国として名高いイギリス。なかでも首都ロンドンでは多くの陶芸家が活躍し、人気を博しています。オーストリア出身のルーシー・リー(1902-1995)やドイツ出身のハンス・コパー(1920-1981)などからはじまり、現在では、ジュリアン・ステア(1955-)やジェニファー・リー(1956-)といった活躍中の陶芸家も数多くいます。

日本と英国の陶芸の関係を辿ると、1920年にバーナード・リーチが濱田庄司と共に日本風の3室の登り窯を築いた時代にまで遡り、さらにリーチ工房と益子町との関係は現在も続いています。昨年開館30周年

を迎えた当館では、2011年に「ある日のヴァンガード・コート」、2013年に「LEACH SCHOOL」、2018年に「英国ラブリア〜派」というように、英国陶芸作品を様々な切り口で紹介する展覧会を数多く開催しています。また、2014年度よりスタートした「益子国際工芸交流事業」では多くのイギリス陶芸家を招聘し、滞在制作が行われてきました。

本展覧会では、当館のコレクションの核のひとつでもある英国陶芸の中からロンドンに焦点を絞り、今回新たに「ロンドン派」と名づけ紹介します。ロンドンから発信された作品の数々をお楽しみください。

同時開催

スポットライト

「高橋朋子 一金銀彩 再考〜」

6月30日(日)〜8月25日(日)

「林 康夫 一浪江に捧ぐ〜」

9月3日(火)〜11月5日(火)

※9月24日(火)〜10月5日(土)は休館

■会場

当館2階展示室

要企画展子ケット



ジュリアン・ステア《二重楯円の骨壺》2020年 益子陶芸美術館



クリス・キナン《雲のフォーメーション》2014年 益子陶芸美術館



ルーシー・リー《白釉線文鉢》1958年頃 Estate of the artist



ルーシー・リー《白青象嵌カップ》1955年頃 Estate of the artist



リサ・ハモンド《ソーダ釉刷毛目皿》2014年 益子陶芸美術館



ルーシー・リー《黄釉線文小鉢》1958年頃 Estate of the artist



ハンス・コパー《ティッスル・フォーム》1954年頃 Estate of the artist



ジェニファー・リー《青、光輪がかかった泥炭の帯、オリーブ色の緑》2013年 益子陶芸美術館



ハンス・コパー《ポット》1972年頃 Estate of the artist

次回展のご案内

「静と動
濱田晋作・濱田庄司」

2024 2025
10月6日(日)〜1月13日(月・祝)

※今後の状況により展覧会予定に変更が生じる場合がございます。

最新情報は当館ウェブサイト・Facebook・X・Instagram等でご確認ください。

Access

益子陶芸美術館

Mashiko Museum of Ceramic Art

〒321-4217 栃木県芳賀郡益子町益子3021

TEL.0285-72-7555

www.mashiko-museum.jp

アクセス:【バス】東武宇都宮駅(西口1番バス乗り場)、JR宇都宮駅(西口14番バス乗り場)から関東バス益子行、または秋葉原駅より茨城交通高速バス「関東やぎものライナー」笠間・益子行、陶芸メッセ入口下車徒歩約2分。【鉄道】JR小山駅から水戸線「下館」駅下車、下館駅から真岡鐵道「益子」駅下車徒歩約25分。【自動車】常磐自動車道友部JCT経由、北関東自動車道「桜川筑西」ICから約20分。東北自動車道栃木都賀JCT経由、北関東自動車道「真岡」ICから約25分。 ※運行状況は各交通機関にご確認ください。

